

第48回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和7年6月12日（木）午後2時00分～
- 開催場所 遠軽町役場3階大会議室
- 記者数 3人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、ありがとうございます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

1 新カントリーサインデザインの公募について

本年10月に4町村合併20周年を迎えます。これを記念する事業の1つとして、これまで旧遠軽町のデザインを使用してきた町境に設置されるカントリーサインを刷新するため、3月下旬から5月16日まで新デザイン募集をしていました。その結果、205件の応募いただきまして、この場お借りして多くのご応募に厚くお礼を申し上げます。

町内外から頂いた。町の名物、名所などを盛り込んだデザインの中から新デザインを選定し、北海道開発局と協議の上、10月に開催を予定しています遠軽町合併20周年記念式典において新カントリーサインを発表することとしています。

最優秀賞1名には賞金3万円、抽選で3名に参加賞として町特産品詰め合わせを贈呈する予定です。

2 遠軽町合併20周年記念事業について

遠軽町合併20周年を記念して様々な国際的な音楽イベントや特別公演、講演会を計画していますので、お知らせいたします。

まず、6月21日に遠軽町芸術文化交流プラザ・メトロプラザ大ホールにおいて、陸上自衛隊第2音楽隊特別演奏会が開催されます。陸上自衛隊第2音楽隊については、第2師団唯一の音楽専門部隊として旭川市に所在しており、遠軽町出身者も3名所属しております。

この音楽隊は道内においてもトップクラスの吹奏楽団としてこれまで定期演奏会を始め、第2師団音楽まつりのほか、師団管内におけるコンサート、ツアー、各種、イベントの協力など多くの皆様に感動を届けてまいりました。

さらには、各市町村のイベント等において演奏する傍ら、学校訪問し、児童生徒に管打楽器の指導を行うなど、地域と自衛隊を結ぶ架け橋となっている部隊です。

当日は、クラシックの名曲から映画音楽など、お子様から大人までどなたでもお楽しみ頂ける演奏会となっておりますので、地域の皆様にこの豊かな音楽を通じて親しみを感じていただければ幸いです。

なお、本演奏会は無料で、事前申し込みも不要となっておりますので、ぜひ、みなさんお誘いあわせのうえ、お気軽にお越しいただければと思います。

次に、3月の定例記者会見において、テレビ東京の番組「開運！なんでも鑑定団 出張！なんでも鑑定団 in 遠軽」の公開収録を、6月29日（日）に遠軽町芸術文化交流プラザ大ホールにおいて行うことのお知らせしておりましたが、1月から募集を開始したお宝の募集及び観覧募集も無事終了し、現在当日の収録に向けた最終準備と進めているところです。

なお、当日鑑定するお宝については応募多数により現在も選定中とのことでありますので、番組スタッフからの連絡を待ちたいと思います。なお、番組の放送日については8月12日（火）となる見込みですので、正式に決まりましたら番組ホームページ及び町のホームページ等によりお知らせいたします。

続いて、7月19日にメトロプラザで開催予定の「パシフィック・ミュージック・フェスティバル 2025 室内オーケストラ遠軽公演」についてです。今年で35回目を迎える「パシフィック・ミュ

ージック・フェスティバル」、通称PMFは、7月9日から7月29日まで札幌市を中心に、函館市、苫小牧市、江別市、小樽市など道内外において開催されます。

この音楽祭は音楽家「レナード・バーンスタイン」が1990年に創設したもので、札幌市長 秋元克広氏が理事長を務める公益財団法人パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会が主催しており、世界3大教育音楽祭の1つとして評されております。

今年は23の国と地域からオーディションで選ばれた95名の若手演奏家が参加し、遠軽公演ではそのうち約50名が来町し、素晴らしい演奏を披露する予定です。現在、チケットをメトロプラザ、各教育センター、生田原総合支所で販売をしております。

ぜひ、この機会に未来を担う、若手音楽家の演奏を楽しみ、遠軽町合併20周年を盛り上げていただきたいと思います。

続いて、今年1月に発表されました「第172回直木賞」において、伊与原新（いよはらしん）さんの「藍を継ぐ海（あいをつぐうみ）」が受賞されたことは皆さん既にご存じのことと思います。この本は5編からなる短編集で、そのひとつである「星隕つ駅通（ほしおつえきてい）」は、遠軽町白滝が舞台となっており、今回の直木賞受賞に際し、心からお祝いのメッセージとともに、北海道へお越しの際はぜひ当町にお立ち寄りいただきたいことをお伝えしておりました。

この度、7月29日（火）に北見市で開催される、道新オホーツク政経文化懇話会講師として訪れることが決まり、その前日となる28日（月）に当町へお立ち寄りいただくことが正式に決まりました。当日は、小説の舞台となった白滝地域を案内したのち、午後6時00分からはメトロプラザ大ホールにおいて、受賞記念講演会並びにサイン会を開催いたします。

なお、この受賞記念講演会については、合併20周年記念事業として実施します。入場無料で行い、サイン会については会場で販売する書籍購入者並びにすでに購入している書籍を持参された方を含め実施しますので、ぜひこの機会にご来場ください。

続いて、8月22日には「dip in the pool live in ENGARU」（ディップインザプール ライブ イン エンガル）をメトロプラザで開催予定です。「dip in the pool」（ディップインザプール）は1983年に結成されたエレクトリック・デュオで、甲田益也子（こうだみやこ）氏がボーカル・作詞を担当し、木村達司（きむらたつじ）氏が作曲・編曲を担当しています。甲田氏は、本町生田原の出身で、音楽活動のほか、モデルや俳優としても世界的に活躍されている方です。この公演は、地元出身の甲田益也子氏をお招きし、独特な音楽センスとファッショナブルなステージを通じ、合併20周年を祝う特別な機会にしたいと考えております。

チケットは7月8日より販売開始の予定です。詳細や最新情報については広報ホームページで随時お知らせいたしますのでご確認ください。

また、8月23日（土）より9月28日（日）までの期間で、遠軽町埋蔵文化財センター企画展示として、「北の大地の国宝～時を越えた人々の想い～」を開催いたします。

この催しは、当町所蔵の「北海道白滝遺跡群出土品」が国宝指定を受けた後、道内では初の国宝指定となった「中空土偶」を所蔵する「函館市縄文文化交流センター」との間で、合同企画展の協議を重ねていたもので、遠軽町は今年、合併から20年を迎えるタイミングであり、函館市の中空土偶については、発見から50年目の節目の年にあたることから、北海道にある国宝を通じて2つの市町が相互に交流し、歴史と文化を共有する場となるよう、実施するものです。

期間中は、遠軽町埋蔵文化財センター黒曜石ギャラリーに「中空土偶（※レプリカ）」を併設展示しておりますので、ぜひこの機会にお越しいただきたいと思います。

なお、会期初日の8月23日（土）には、国宝指定記念切手シートの販売を開始するほか、9月14日（日）と15日（月：敬老の日）の2日間は、白滝国際交流センターにおいて「北の大地の国宝マルシェ」と題し、函館市や遠軽町の物産品販売や協力団体によるワークショップ等を開催予定です。

現在イベント内容の詳細を調整中ですので、今後町ホームページ等により、お知らせしたいと考えております。

3 「防災道の駅」の指定について

「防災道の駅」については、令和3年に国土交通省が、各都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている「道の駅」39駅を選定いたしました。

令和6年に発生した「能登半島地震」においても、こうした「防災道の駅」が広域防災拠点としての大きな役割を果たしたことなどを踏まえ、令和7年度に入り選定基準を満たす道の駅に対し、新たに40駅の追加があり、そのうち、本町の「遠軽 森のオホーツク」も選定されました。オホーツク管内では初の指定となります。

町としましては、今後最大5年間で国の交付金を活用しながら、災害時に求められる機能を有する設備を整備していく考えであります。